

新文部省  
地球儀略解

松井惟利編輯

二



|         |      |    |     |
|---------|------|----|-----|
| 大日本教育會館 |      |    |     |
| 室       |      | 第  |     |
|         | 一九九號 | 五架 | 三二函 |
| 三冊      |      |    |     |

館  
函  
架  
號

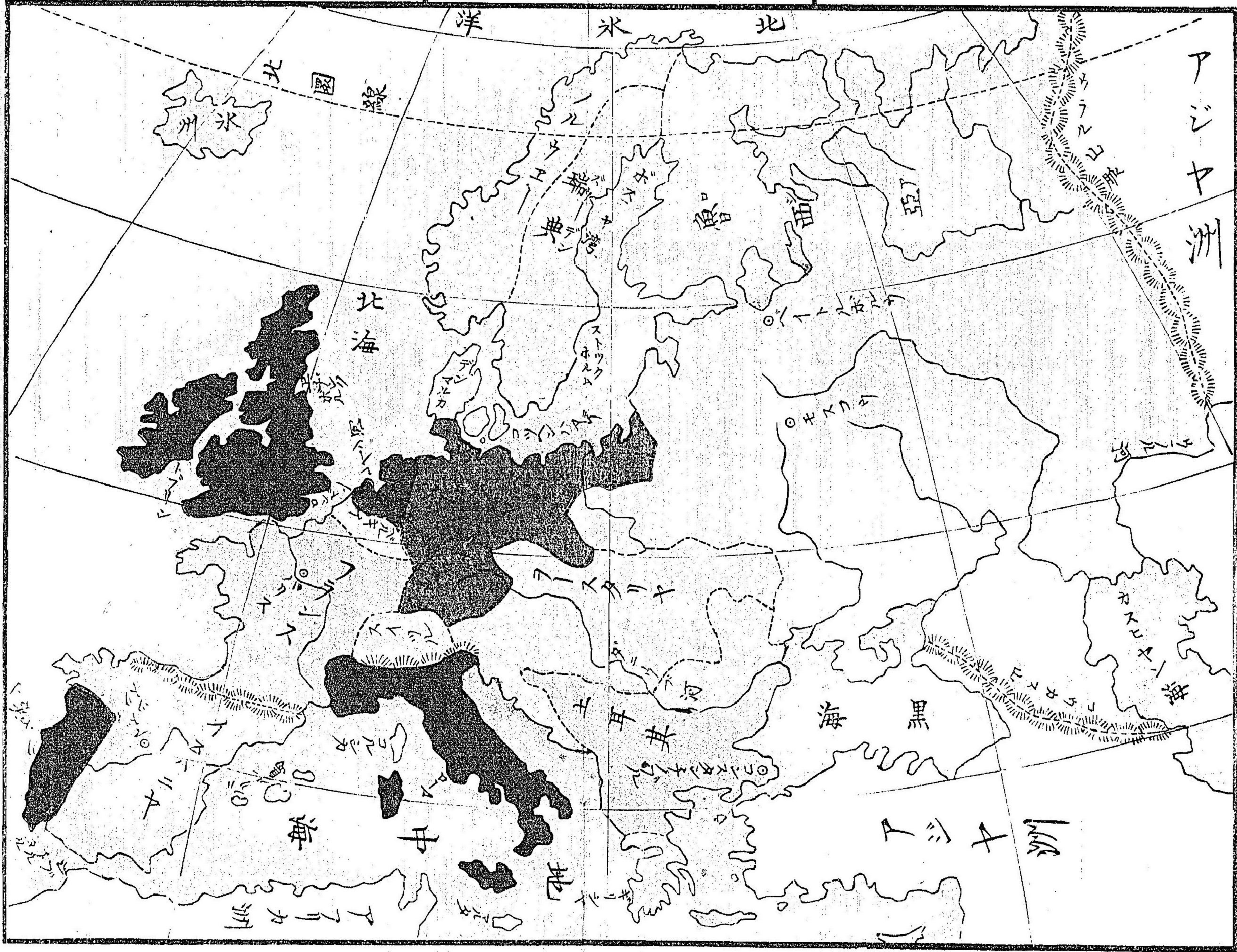
特37

456

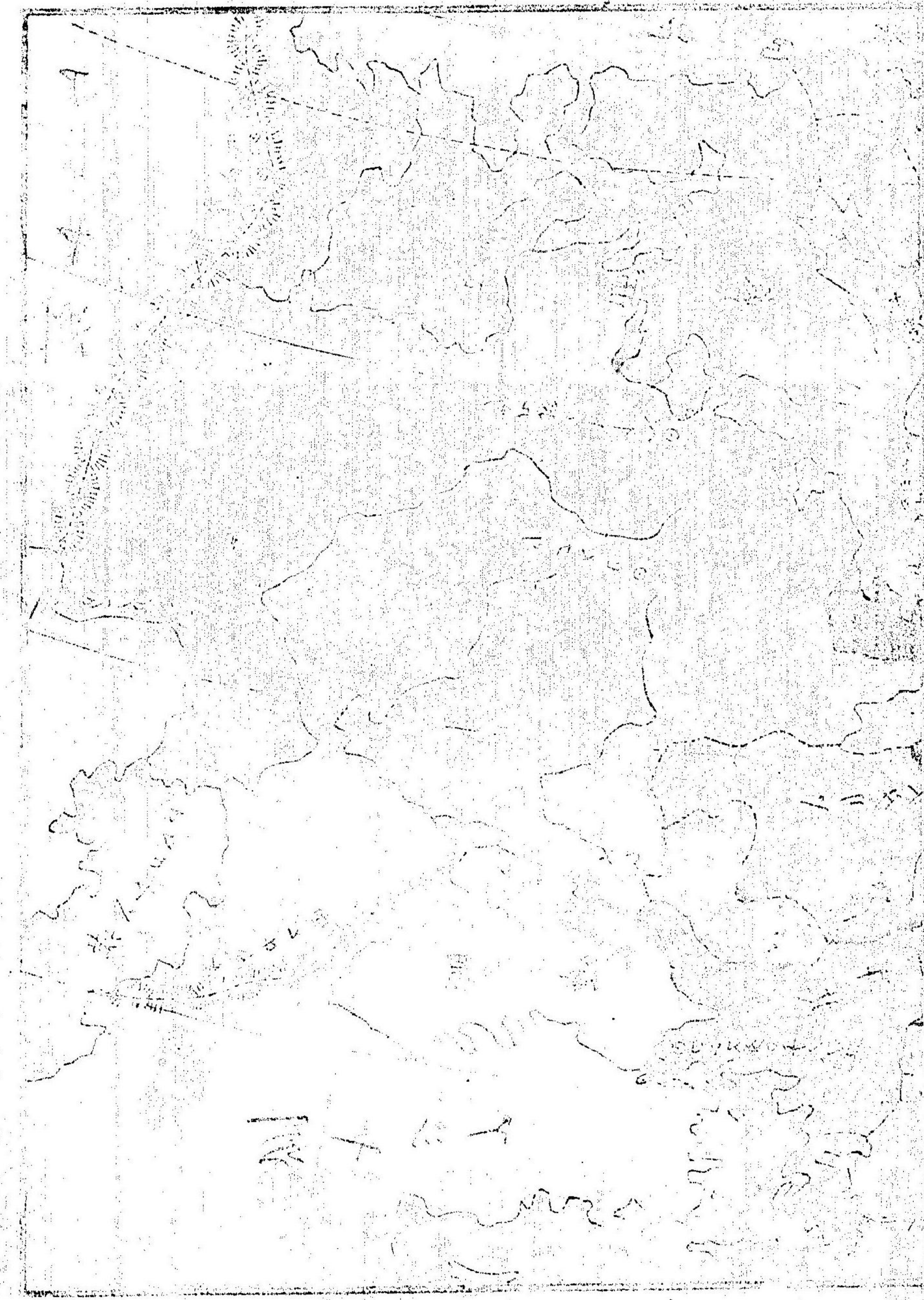
三本



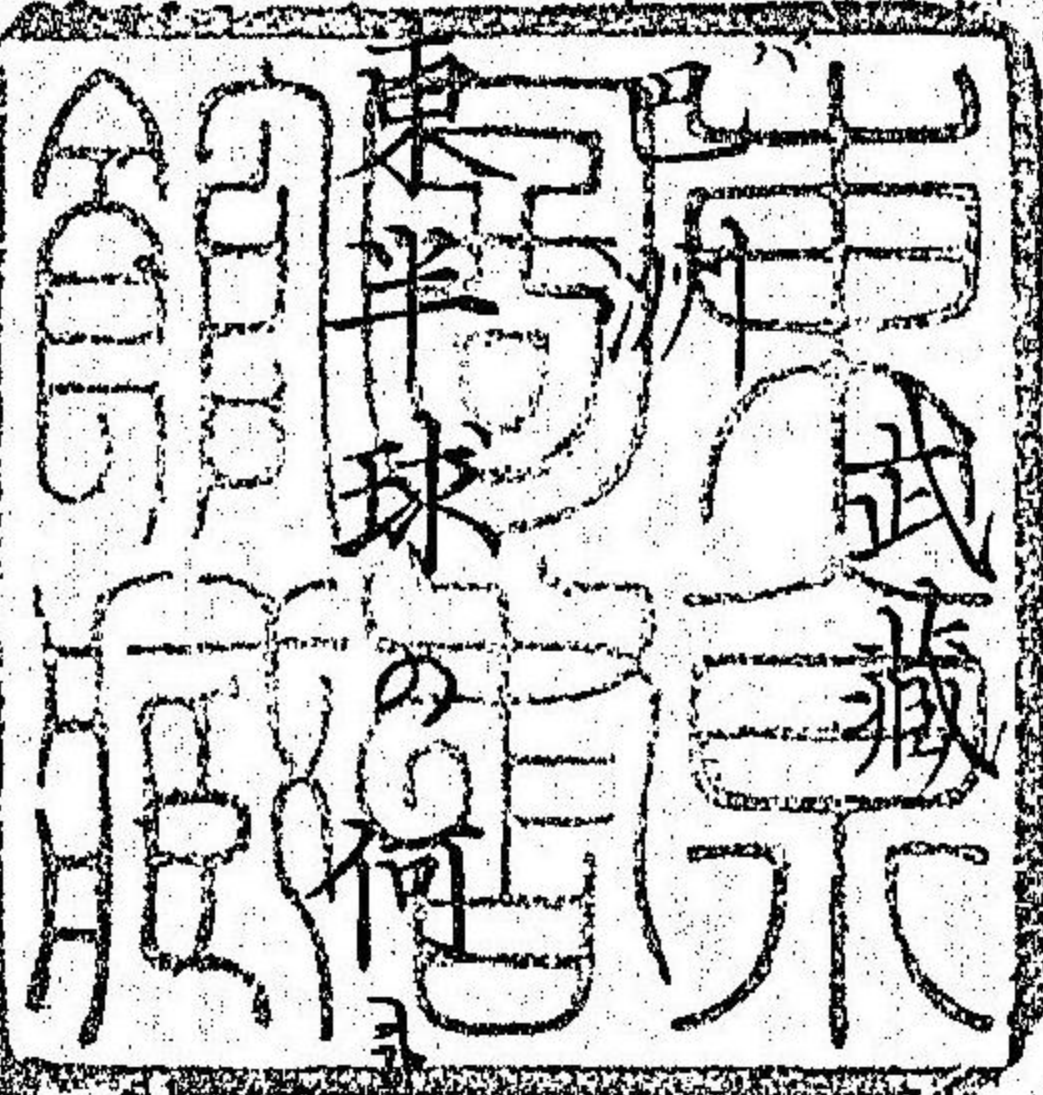
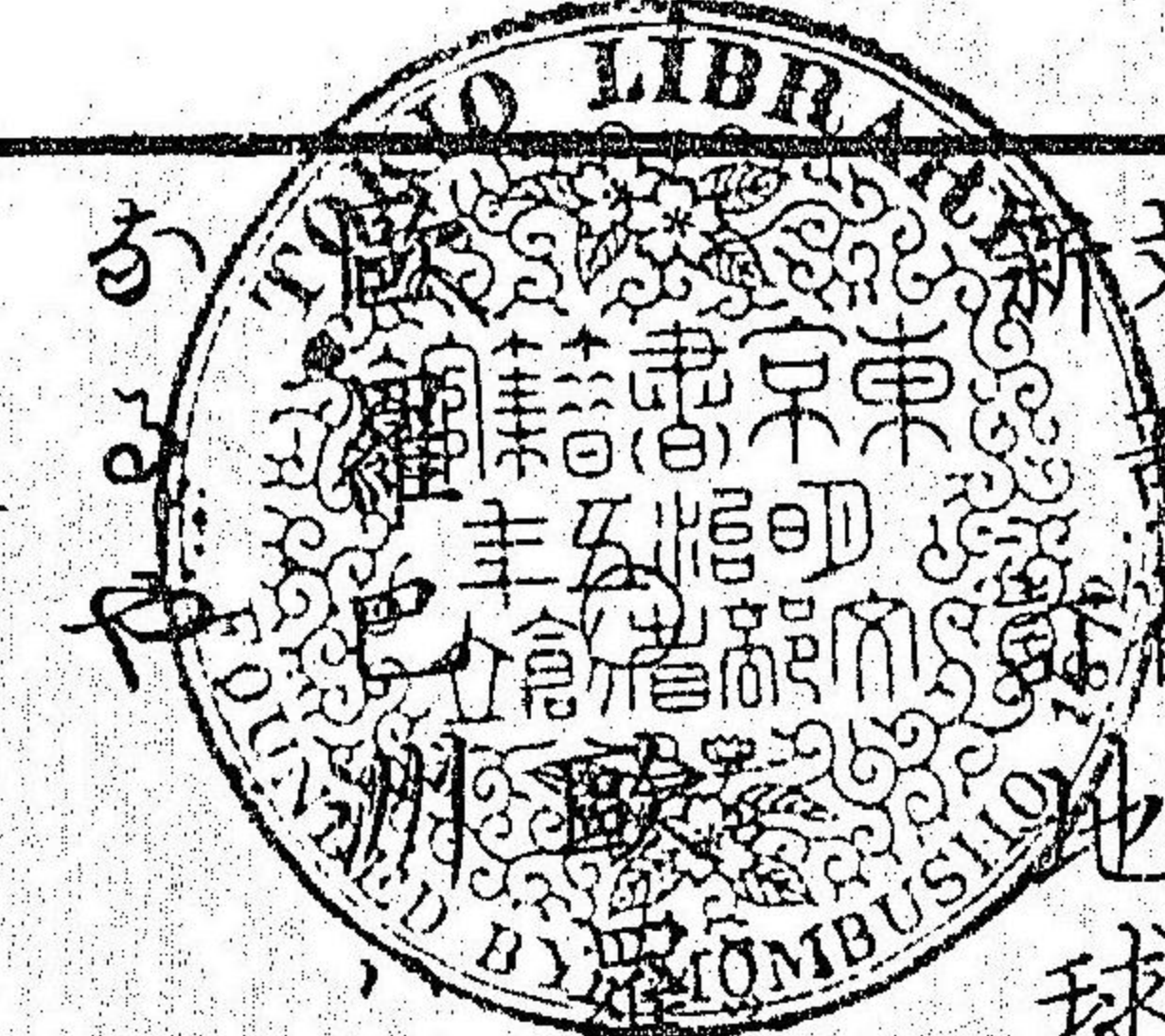
歐羅巴洲



地球儀略解



文部省地球儀略解卷二



明治九年圖書寮交付

松井惟利 編輯

ふ位を又緯線ハ何度

東半球の西北の部ふ在り赤道の北三十六度より起り七十一度ふ至りま

此大洲の境界ハ何きあるや

東ハ亞細亞カスヒヤン海ふ連おり西ハ大平洋ふ至り南ハ地中海ふ界ハ北ハ氷洋を界と

地球儀略解 卷二

一

一まに

洲内小羅列する國々の幾許あるや

英吉利<sup>イギリス</sup>佛蘭西<sup>フランス</sup>西班牙<sup>スペイン</sup>葡萄牙<sup>ポルトガル</sup>日耳曼<sup>ドイツ</sup>普魯西<sup>プロシヤ</sup>地<sup>スウェーデン</sup>利<sup>デンマーク</sup>和蘭<sup>オランダ</sup>比耳時<sup>ベルギー</sup>第那爾<sup>デンマーク</sup>加瑞<sup>スウェーデン</sup>典<sup>スウェーデン</sup>那威<sup>スウェーデン</sup>魯西亞<sup>スウェーデン</sup>瑞<sup>スウェーデン</sup>西<sup>スウェーデン</sup>伊多利亞<sup>イタリア</sup>希臘<sup>ギリシア</sup>及土耳其<sup>トルコ</sup>等てありまに

○英吉利<sup>イギリス</sup>彩色<sup>イギリス</sup>ハ赤色<sup>イギリス</sup>

英吉利ハ歐羅巴<sup>ヨーロッパ</sup>の何きも位す又緯線ハ何度あるや

歐羅巴の西北部に在りて大強國あり赤道の北五十度より起り五十八度に至りまに

全國の境界ハ何きあるや

東ハ北海に接し西南及ハ北の三面ハ皆大西洋を界としまに

此國を何土に分つるや

三土に分ち即ち英倫<sup>イングランド</sup>蘇蘭土<sup>スコットランド</sup>及ハ愛蘭土<sup>アイランド</sup>等てありまに

地勢及ハ氣候ハ如何あるや

山嶺多く田圃ハ最も膏腴あり氣候ハ温和にして時々更變し霧雨深くありまに

大河ハ如何あるや

達迷河といひまは

大都府を何々といふや

倫敦以丁堡及ひ都伯林といひまは

著名なる土地ハ何々あるや

ヘンフローク、メルセル、及ひフリストン等

てありまは

全國ハ屬する大島ハ何々あるや

ウエステル島、フルクネー島、及ひスノーリー島

てありまは

○佛蘭西ハ彩色ハ黄色

佛蘭西ハ歐羅巴洲の何きハ位も又緯線ハ何度  
あるや

歐羅巴の西部ハ在り赤道の北四十三度より  
起り五十一度ハ至りまは

全國の境界ハ何きより何きあるや

東ハ日耳曼瑞士ハ至り南ハ地中海西班牙ハ  
接し西ハ比斯加灣を臨み北ハ比利時英吉利  
海峽を界しまは

地勢及ひ氣候ハ如何あるや

東部ハ峯嶺斷續し南部ハトルネ山脈を隔て

余ハ悉ク平原あり氣候ハ都て温和てありまは  
大河ハ何々あるや

○ ロンネ河ラハ等てありまは

首府及ひ有名ある土地ハ何々あるや

○ パリ府リ昂マ塞リ等てありまは

屬島ハ何々といふや

伊多利亞の南方ありこきをコルシカ島と

いひまは

○ 和蘭 フランダ 彩色ハ 赤色

歐羅巴洲の何れもあるや緯線ハ何度あるや

歐羅巴の西北隅ハ在りて赤道の北五十二度  
より起り五十四度ハ至りまは

全國の境界ハ何々あるや

東ハ日耳曼ハ界ハ西北ハ北海ハ濱を南ハ比

利時を界りといひまは

地勢及ひ氣候ハ如何あるや

全國中凹地多ク氣候ハ甚だ寒冷でありまは

大都府ハ何々あるや

○ 俺特 坦及ひ 海牙といひまは

○ 比利時 彩色ハ 黄色

歐羅巴洲の何れもあるや又緯線ハ如何あるや  
歐羅巴の西北部に在り緯線赤道の北五十度  
より起り五十二度に至りまは

全國の境界ハ何々あるや

東ハ日耳曼に接し西ハ佛蘭西北海に連なり  
南ハ佛蘭西を界としまは

地勢及び氣候ハ如何あるや

平坦なきとも南部ハ丘陵多し氣候ハ温和て  
ありまは

有名ある土地ハ何々あるや

比<sup>ブリッセル</sup>律<sup>ス</sup>悉<sup>ス</sup>府<sup>ス</sup>といひまは

○西<sup>ス</sup>班<sup>パ</sup>牙<sup>ニ</sup>の何れもあるや

歐羅巴洲の何れもあるや緯線ハ何度あるや

西南隅に在り緯線赤道北三十六度より起り  
四十三度に至りまは

全國の境界ハ何々あるや

東ハ地中海に枕し西ハ葡萄牙に接し南ハ大  
西洋の面ト北ハ佛蘭西を界としまは

地勢及び氣候ハ如何あるや

東地より西地に至り峰嶺屏列し中央ハ高原



平廣にして山水秀麗あり氣候北地ハ寒一南  
地ハ最も暑くありまは

河の大ある者ハ何々あるや

ドーロ河及びヒギニアシナ河等てありまは

首府及び著名ある土地ハ何々であるや

馬德里ハ首府あり巴塞羅塞維里加的斯、ヒル

ハテ、哥多瓦、コリシナ及びフビダ等てありまは

全國の属島ハ何々あるや

マジヨルカ島、ミノルカ島、イビカ島等して此島

々の總稱をハリアリツク諸島といひまは

○葡萄牙ポルトガル彩色ハ赤色

歐羅巴洲の何れ小位を又緯線ハ何度あるや

西南の部小在り緯線赤道の北三十七度より

起り四十二度小至りまは

全國の境界ハ何々あるや

東北ハ西班牙小接し西南ハ大西洋を界とし

まは

地勢及び氣候ハ如何あるや

四圍共小山嶺相亘り平坦の地稀あり氣候ハ

西北の部ハ温和なれども東南の部ハ最も水

熱甚<sup>ク</sup>テ<sup>シ</sup>クありま<sup>シ</sup>ハ

首府及<sup>シ</sup>ハ首邑ハ何々あるや

里斯本<sup>リスボン</sup>ハ府<sup>ポルトガル</sup>ホ<sup>ル</sup>ト<sup>ガル</sup>て<sup>テ</sup>荷波多<sup>ラホルト</sup>ハ邑名<sup>ラホルト</sup>てありま<sup>シ</sup>ハ

○日耳曼<sup>ゲルマン</sup>ハ彩色<sup>ゲルマン</sup>ハ紫色<sup>ゲルマン</sup>

歐羅巴<sup>ユーラシア</sup>の何れ<sup>ユーラシア</sup>ホ位<sup>ユーラシア</sup>を又<sup>ユーラシア</sup>緯度<sup>ユーラシア</sup>ハ如何<sup>ユーラシア</sup>あるや

歐羅巴<sup>ユーラシア</sup>の中<sup>ユーラシア</sup>部<sup>ユーラシア</sup>ホ在<sup>ユーラシア</sup>る大<sup>ユーラシア</sup>國<sup>ユーラシア</sup>ホ<sup>ユーラシア</sup>て緯<sup>ユーラシア</sup>度<sup>ユーラシア</sup>赤<sup>ユーラシア</sup>道<sup>ユーラシア</sup>の北<sup>ユーラシア</sup>四<sup>ユーラシア</sup>十五<sup>ユーラシア</sup>度<sup>ユーラシア</sup>より起<sup>ユーラシア</sup>り五<sup>ユーラシア</sup>十七<sup>ユーラシア</sup>度<sup>ユーラシア</sup>ホ至<sup>ユーラシア</sup>りま<sup>シ</sup>ハ

全<sup>ユーラシア</sup>國<sup>ユーラシア</sup>の境<sup>ユーラシア</sup>界<sup>ユーラシア</sup>ハ何<sup>ユーラシア</sup>々<sup>ユーラシア</sup>あるや

東<sup>ユーラシア</sup>ハ<sup>ユーラシア</sup>奧<sup>ユーラシア</sup>地<sup>ユーラシア</sup>利<sup>ユーラシア</sup>普<sup>ユーラシア</sup>魯<sup>ユーラシア</sup>西<sup>ユーラシア</sup>ホ接<sup>ユーラシア</sup>ま<sup>ユーラシア</sup>西<sup>ユーラシア</sup>ハ和<sup>ユーラシア</sup>蘭<sup>ユーラシア</sup>比<sup>ユーラシア</sup>利<sup>ユーラシア</sup>時<sup>ユーラシア</sup>及<sup>ユーラシア</sup>ハ佛<sup>ユーラシア</sup>蘭<sup>ユーラシア</sup>西<sup>ユーラシア</sup>の三<sup>ユーラシア</sup>ヶ<sup>ユーラシア</sup>國<sup>ユーラシア</sup>ホ連<sup>ユーラシア</sup>ち<sup>ユーラシア</sup>り南<sup>ユーラシア</sup>ハ瑞<sup>ユーラシア</sup>士<sup>ユーラシア</sup>伊<sup>ユーラシア</sup>多<sup>ユーラシア</sup>利<sup>ユーラシア</sup>

亞<sup>ユーラシア</sup>小<sup>ユーラシア</sup>接<sup>ユーラシア</sup>ま<sup>ユーラシア</sup>北<sup>ユーラシア</sup>ハ波<sup>ユーラシア</sup>羅<sup>ユーラシア</sup>的<sup>ユーラシア</sup>海<sup>ユーラシア</sup>を界<sup>ユーラシア</sup>と<sup>ユーラシア</sup>ま<sup>シ</sup>ハ

地<sup>ユーラシア</sup>勢<sup>ユーラシア</sup>及<sup>ユーラシア</sup>ハ氣<sup>ユーラシア</sup>候<sup>ユーラシア</sup>ハ如何<sup>ユーラシア</sup>あるや

北<sup>ユーラシア</sup>地<sup>ユーラシア</sup>ハ平<sup>ユーラシア</sup>垣<sup>ユーラシア</sup>ホ<sup>ユーラシア</sup>て藪<sup>ユーラシア</sup>澤<sup>ユーラシア</sup>多<sup>ユーラシア</sup>ク南<sup>ユーラシア</sup>地<sup>ユーラシア</sup>ハ廣<sup>ユーラシア</sup>原<sup>ユーラシア</sup>ホ<sup>ユーラシア</sup>り余<sup>ユーラシア</sup>ハ山<sup>ユーラシア</sup>脈<sup>ユーラシア</sup>伏<sup>ユーラシア</sup>起<sup>ユーラシア</sup>ク氣<sup>ユーラシア</sup>候<sup>ユーラシア</sup>ハ暑<sup>ユーラシア</sup>寒<sup>ユーラシア</sup>とも<sup>ユーラシア</sup>ホ甚<sup>ユーラシア</sup>ク<sup>ユーラシア</sup>ありま<sup>シ</sup>ハ

河<sup>ユーラシア</sup>の大<sup>ユーラシア</sup>ホ<sup>ユーラシア</sup>る者<sup>ユーラシア</sup>ハ何<sup>ユーラシア</sup>々<sup>ユーラシア</sup>あるや

多<sup>ユーラシア</sup>腦<sup>ユーラシア</sup>河<sup>ユーラシア</sup>及<sup>ユーラシア</sup>ハ威<sup>ユーラシア</sup>塞<sup>ユーラシア</sup>河<sup>ユーラシア</sup>等<sup>ユーラシア</sup>てありま<sup>シ</sup>ハ

著<sup>ユーラシア</sup>名<sup>ユーラシア</sup>ホ<sup>ユーラシア</sup>る土<sup>ユーラシア</sup>地<sup>ユーラシア</sup>ハ何<sup>ユーラシア</sup>々<sup>ユーラシア</sup>あるや

慕<sup>ユーラシア</sup>尼<sup>ユーラシア</sup>克<sup>ユーラシア</sup>ベ<sup>ユーラシア</sup>レ<sup>ユーラシア</sup>ン<sup>ユーラシア</sup>ス<sup>ユーラシア</sup>ホ<sup>ユーラシア</sup>ル<sup>ユーラシア</sup>ク<sup>ユーラシア</sup>コ<sup>ユーラシア</sup>ロ<sup>ユーラシア</sup>ネ<sup>ユーラシア</sup>ン<sup>ユーラシア</sup>とい<sup>ユーラシア</sup>ひま<sup>シ</sup>ハ

○普<sup>ユーラシア</sup>魯<sup>ユーラシア</sup>西<sup>ユーラシア</sup>ハ彩色<sup>ユーラシア</sup>ハ紫色<sup>ユーラシア</sup>ありま<sup>シ</sup>ハ

歐羅巴洲の何れ小位を又緯度ハ如何あるや  
歐羅巴の中部小在りて緯線赤道の北四十九  
度より起り五十六度小至りまに

全國の境界ハ何々あるや

東ハ魯西亞ロシヤ小接し西ハ日耳曼ゲルマン小至り南ハ  
地利ハッリッ小至り北ハバルチック海を界としまに  
地勢及ひ氣候ハ如何あるや

東北の部ハ平垣おれとも砂磧の原野あり西  
南の部ハ峯嶺多し氣候ハ温和てありまに  
河の大なる者を何といふや

ワデル河といふや

首府及ひ有名ある土地ハ何々といふや

伯靈府ベルリンといふ其他ハダンドジク、フロボルク  
といひまに

○ 壤地利アスクリヤ彩色ハ薄樺色

歐羅巴洲ハ何れ小位を又緯線ハ何度あるや

歐羅巴の中央小位を大國小して赤道の北  
四十三度より起り五十一度小至りまに

全國の境界ハ何々あるや

東北ハ魯西亞ロシヤ普魯西プロシヤ小界し西ハ日耳曼瑞士

小接を北ハ伊多利亞土耳其を界としまに  
地勢及び氣候ハ何々あるや

山嶺突起して四時共小白雪あり皆平野小  
て砂磧の土地多し氣候ハ温和でありまに

東部小豆る山脈を何んといふや  
カルハシヤ山脈といひまに

河の大なる者を何といふや  
多脳河といひまに

首府及び有名なる土地ハ何々あるや  
維也納府及びヘスツ、ラルモツといひまに

○第那馬テネマルカ加彩色ハ黄色

歐羅巴洲の何れ小在り又緯線ハ如何なるや

歐羅巴の西北の隅小在り緯線赤道の北三十  
三度より起り五十八度小至りまに

全國の境界ハ何々あるや

東ハ波羅的海小至り西ハ北海を臨み南ハ日  
耳曼小連かり北ハスカツケルラツク岫を界

としまに  
地勢及び氣候ハ如何なるや

平原曠野小して處々小低窪多し其西部ハ砂

積もり氣候ハ寒く朝夕霧尤も深くありまほ

大都府ハ何といふや

哥卑合給といひ小國といへども開明おして

學校病院尤も盛大であります

○瑞典 スウェーデン 那威 ノルウェー 彩色ハ薄樺色

歐羅巴の何れ小在るや又緯線ハ何度あるや

歐羅巴の北隅小在り緯線赤道の北五十五度

より起り七十七度小至りまほ

全國の境界ハ何々あるや

東ハ魯西亜バルチック海及ヒホスニヤ灣小至

り西ハ大西洋小界し南ハバルチック海及ヒス

カツケルラツク岔を界としまほ

地勢及ヒ氣候ハ如何あるや

全國の中部小大なる山脈ありて山の左を瑞

威といひ亦山の右を那威といふ不毛の土地

最も多し氣候ハ甚寒冷であります

大なる山脈を何といふや

ドーフルフィールド及ヒグリーン山脈といひ

まほ

那威小在る高山を何といふや

シユリネルマ山といひまは

湖の大なる者を何んといふや

威那湖ウエルネルウエッテル湖等てありまは

瑞典の首府及ひ其他有名なる地を何といふや

斯德哥摩府及ひコンテンブルグといひまは

那威の有名なる土地ハ何々なるや

幾斯底安キリスナアン白然ビゼケントロレトヘーム等てありまは

羅列する嶼島を何といふや

センゼン島ソル島てありまは

○魯西亞ロレン彩色ハ黄色てありまは

歐羅巴の何れハ在り又緯線ハ何度なるや

歐羅巴と亞細亞の兩大洲ハ跨りたる大國ハ

一て緯線赤道の北四十八度より起り七十度

小至りまは

全國の境界ハ何々なるや

東ハ烏拉山脈ウラルカスヒヤン海小至り西ハハル

子チツク海ウイス普魯西プロシヤ壞地ブストンヤ利リ小界リ南ハ黒海高加索カカス

山小接一北ハ氷洋を界と一まは

地勢及ひ氣候ハ如何なるや

原野平坦小一て藪澤多一氣候北地ハ極寒甚

たー亦南地の温和小一て尤も勝地てありま  
に

高山ハ何といふや

コルガユスコー山といひまに

大河ハ何々あるや

烏拉河ウラ萬瓦河マンバ敦河トンカトニール河トニールボル

ク河クカマ河北カマ酌河ソク土味拿河トミナブリヤタ河ブリヤタ及

ヒトヒチ河ヒトヒチといひまに

湖の大なる者ハ何々あるや

拉多牙湖ラトガ阿尼牙湖アニヤ及ひサンイマ湖サンイマといひまに

二大府を何といふや

彼得堡府ピートルホルク及ひ莫斯科府モスクワといひまに

著名ある土地を何々といふや

シレベルスクシレベルスク、アホーアホー、利牙リヤトキユルカスクリヤトキユルカスク、阿斯アス

達干ダカンヘルムヘルム、ボルクダボルクダ、亞干日アカンゼル、アゾーフアゾーフ、ウラル

スクスク、ヤロガスヤロガス、フストラマフストラマ、カールコウカールコウ、古尔コウス

克痾勒尔クカール、チユラチユラ、トルネアトルネア、ウーレンウーレン、ボイルボイル、給

爾孫ニルソン及ひモヒレウモヒレウ等てありまに

全国クワンに属する島を何々といふや

新森拉島シンセンラコルグフ島コルグフ及ひワイカツツ島ワイカツツ等あ

りまに

黒海に突出せる土地を何といふや

クリミアといふ此南地をセバストポリとい

ひまは

○スウェーデン 瑞土彩色ハ黄色

歐羅巴洲の何れに位も亦緯線ハ何度あるや

歐羅巴の中央に在り緯線赤道の北四十六度

より起り四十八度に至りまは

全國の境界ハ何々あるや

東ハオーストリア 境ハ西ハフランス 佛蘭西に接し南ハ

多利亞イタリア に至り北ハ日耳曼ゲルマン を界とくまは

地勢及び氣候ハ如何あるや

山嶺重疊にして常に白雪を頂き氣候ハ尤も

温和でありまは

著名なる土地を何々といふや

伯尔尼ベルン といひまは

○伊多利亞イタリア 彩色ハ赤色

歐羅巴洲の何れに在り緯線ハ何度あるや

歐羅巴の南部に在り緯線赤道の北三十七度

より起り四十七度に至りまは

全國の境界ハ何々あるや



東ハアトリア海<sup>アトリア</sup>濱<sup>スウェイツル</sup>北瓊地利<sup>アトリア</sup>瑞士<sup>スウェイツル</sup>小界

西南ハ地中海を界とす<sup>マ</sup>マ

地勢及ヒ氣候ハ如何ある也

峯嶺蜿蜒として全國ヨ相亘リ氣候北部ハ最

モ寒冷あり中部ハ熱地ふして南部ハ稍温和

てあり<sup>マ</sup>マ

高山を何んといふや

ベスヒユキス山といひ<sup>マ</sup>マ

首府及ヒ有名ある土地ハ何々ある也

那不勤<sup>ナ</sup>府<sup>ア</sup>羅馬<sup>ロ</sup>米蘭<sup>ミ</sup>セロ<sup>セ</sup>十<sup>シ</sup>及ヒ都林<sup>ド</sup>等<sup>リ</sup>てあり

マ

全國の大洲嶼ハ何々といふ也

西々<sup>シ</sup>里島<sup>リ</sup>及ヒ撒丁<sup>サ</sup>島<sup>ジ</sup>てあり<sup>マ</sup>マ

○土耳<sup>ト</sup>其<sup>コ</sup>て<sup>テ</sup>あり<sup>マ</sup>マ

歐羅巴洲の何れハあり又緯線ハ如何ある也

歐羅巴の東南ヨ位キ緯線赤道の北三十九度

ヨリ起リ四十九度ヨ至リ<sup>マ</sup>マ

全國の境界ハ何々ある也

東ハ黒海<sup>ク</sup>馬<sup>マ</sup>々<sup>々</sup>拉海<sup>ラ</sup>ヨ及ヒ西ハ亞得亞海<sup>ア</sup>瓊地<sup>ウ</sup>

利<sup>リ</sup>不<sup>フ</sup>連<sup>レ</sup>あり南ハ希臘<sup>グ</sup>及ヒ希臘海<sup>グ</sup>を臨ミ北ハ

埃地利魯西亞を界とす

地勢及び氣候ハ如何あるや

南部ハ海灣多く島嶼羅布一氣候ハ四時とす

ハ温和でありま

大河及び湖の大ある者を何といふや

多瑙河といひ湖ハ拉塞首といひま

首府及び著名ある土地ハ何々あるや

君士坦丁ハ首府あり其他亞得利安サウミク

ハロンナといひま

○希臘ハ彩色ハ黄色

歐羅巴洲の何れハ在り緯線何度あるや

歐羅巴の南部ハ在り緯線赤道の北三十六度

より起り三十九度ハ至りま

全國の境界ハ何々あるや

東ハ希臘海ハ至り北ハ土耳其ハ接一西南ハ

地中海を界とす

地勢及び氣候ハ如何あるや

山脈多く又島嶼々羅布一氣候ハ極めて温和

でありま

首府及び有名ある土地を何んといふや

雅典及ひ巴答といひまは

亞非利加洲

亞非利加洲ハ東半球の何れも位も又緯度ハ如何あるや

東半球の中央も位も一大洲もして赤道の北三十七度より起り赤道の南三十五度も至りまは

亞非利加洲の境界ハ何れあるや

東ハ紅海及ひ印度洋も枕し西ハ大西洋も接し南ハ印度洋大西洋も界し北ハ地中海を界ししまは

此大洲ハ羅列せる國々を何んといふや

摩<sup>マ</sup>洛<sup>ロ</sup>哥<sup>カ</sup>、阿<sup>ア</sup>ル<sup>ル</sup>及<sup>キ</sup>亞<sup>ア</sup>、突<sup>ト</sup>尼<sup>ニ</sup>斯<sup>ス</sup>、利<sup>リ</sup>波<sup>ハ</sup>里<sup>リ</sup>埃<sup>エ</sup>及<sup>ト</sup>奴<sup>ニ</sup>比<sup>ヒ</sup>亞<sup>ア</sup>

亞<sup>ア</sup>比<sup>ヒ</sup>西<sup>シ</sup>ニ<sup>ニ</sup>、達<sup>ダ</sup>夫<sup>フ</sup>蘇<sup>ソ</sup>且<sup>チ</sup>塞<sup>セ</sup>内<sup>ネ</sup>岡<sup>ガ</sup>比<sup>ヒ</sup>上<sup>シ</sup>、幾<sup>ケ</sup>内<sup>ネ</sup>亞<sup>ア</sup>、公<sup>コ</sup>額<sup>ガク</sup>亞<sup>ア</sup>

然<sup>シ</sup>桑<sup>サン</sup>給<sup>キツ</sup>拔<sup>ハク</sup>尔<sup>ル</sup>莫<sup>モ</sup>三<sup>サン</sup>鼻<sup>ビ</sup>加<sup>カ</sup>弗<sup>フ</sup>利<sup>リ</sup>亞<sup>ア</sup>、及<sup>キ</sup>ひ岌<sup>キ</sup>哥<sup>カ</sup>羅<sup>ラ</sup>尼<sup>ニ</sup>と

いひまは

○摩<sup>マ</sup>洛<sup>ロ</sup>哥<sup>カ</sup>て彩色ハ紫色

亞<sup>ア</sup>非<sup>フ</sup>利<sup>リ</sup>加<sup>カ</sup>洲<sup>シウ</sup>の何れハ位<sup>イ</sup>モ緯<sup>ヰ</sup>線<sup>セン</sup>ハ何<sup>ナニ</sup>度<sup>ド</sup>あるや

亞<sup>ア</sup>非<sup>フ</sup>利<sup>リ</sup>加<sup>カ</sup>の西<sup>シ</sup>北<sup>ホク</sup>ハ在<sup>ア</sup>リ緯<sup>ヰ</sup>線<sup>セン</sup>赤<sup>セキ</sup>道<sup>ダウ</sup>の北<sup>キタ</sup>二<sup>ニ</sup>十<sup>ジュウ</sup>八<sup>ハチ</sup>

度<sup>ド</sup>より起<sup>ア</sup>リ三<sup>サン</sup>十<sup>ジュウ</sup>六<sup>ロク</sup>度<sup>ド</sup>ハ至<sup>イ</sup>リまは

全<sup>ケン</sup>國<sup>コク</sup>の境<sup>ケイ</sup>界<sup>ガイ</sup>ハ何<sup>ナニ</sup>々<sup>々</sup>あるや

東<sup>トウ</sup>ハ阿<sup>ア</sup>ル<sup>ル</sup>及<sup>キ</sup>亞<sup>ア</sup>ハ接<sup>ケツ</sup>シ西<sup>シ</sup>ハ大<sup>ダイ</sup>西<sup>シヤウ</sup>洋<sup>ヤウ</sup>ハ面<sup>メン</sup>シ南<sup>ナン</sup>ハ

撒<sup>サ</sup>哈<sup>ハ</sup>拉<sup>ラ</sup>大<sup>ダイ</sup>沙<sup>シャ</sup>漠<sup>マク</sup>ハ界<sup>カイ</sup>シ北<sup>キタ</sup>ハ地<sup>チ</sup>中<sup>チュウ</sup>海<sup>カイ</sup>を界<sup>カイ</sup>シ

地<sup>チ</sup>勢<sup>セイ</sup>及<sup>キ</sup>ひ氣<sup>キ</sup>候<sup>コウ</sup>ハ如<sup>ニ</sup>何<sup>ナニ</sup>あるや

山<sup>サン</sup>嶺<sup>リョウ</sup>多<sup>タ</sup>ク連<sup>レン</sup>亘<sup>ケン</sup>せること數<sup>スウ</sup>十<sup>ジュウ</sup>里<sup>リ</sup>在<sup>ア</sup>リ氣<sup>キ</sup>候<sup>コウ</sup>ハ温<sup>オン</sup>

和<sup>ワ</sup>みして人<sup>ジン</sup>民<sup>ミン</sup>ハ適<sup>テキ</sup>せるといひまは

高<sup>カウ</sup>山<sup>サン</sup>を何<sup>ナニ</sup>んといふや

ミルトシ<sup>ミルトシ</sup>ン山<sup>ンサン</sup>といひまは

首<sup>シュ</sup>府<sup>フ</sup>及<sup>キ</sup>ひ有<sup>ユウ</sup>名<sup>メイ</sup>ある土<sup>ド</sup>地<sup>チ</sup>ハ何<sup>ナニ</sup>々<sup>々</sup>あるや

麻<sup>マ</sup>洛<sup>ラ</sup>哥<sup>カ</sup>ハ首<sup>シュ</sup>府<sup>フ</sup>ハ其<sup>シ</sup>他<sup>タ</sup>モガド<sup>ガド</sup>ン、ラ<sup>ラ</sup>ハ<sup>ハ</sup>ツ<sup>ツ</sup>、ク

スレ<sup>スレ</sup>ツ<sup>ツ</sup>ト、タ<sup>タ</sup>ン<sup>ン</sup>ゼ<sup>ゼ</sup>ール、メ<sup>メ</sup>リ<sup>リ</sup>ル<sup>ル</sup>ラ及<sup>キ</sup>ひヒ<sup>ヒ</sup>ー<sup>ー</sup>ズ等<sup>トウ</sup>





氣候ハ温和あり夏時炎熱甚しくありまは  
 首府及び有名ある土地ハ何々あるや

アルギルス府コレスタンチナ、トメセン及  
 ひボナ等てありまは

○突尼斯トニスて彩色ハ赤色

亞非利加洲の何れハ位も又緯線ハ何度あるや  
 亞非利加の北部ハ在り緯線赤道の北三十三  
 度より起り三十七度ハ至りまは

全國の境界ハ何々あるや  
 東ハ的利波里ハ接し西ハアルキリアハ連あり

南ハ撒哈拉大沙漠サハラ小至り北ハ地中海を界と  
しま

地勢及び氣候ハ如何あるヤ

海濱の地ハ平坦小して中央ハ峯嶺險峻あり

氣候ハ暖小して人身小尢益あるといひま

首府及び有名ある土地ハ何々あるヤ

トニユスハ首府あり其他ワサ及びヒカベス

等てありま

○的利波里カリボリ彩色ハ黄色

亞非利加洲の何れ小位也又緯度ハ如何あるヤ

亞非利加の北部小位也緯線赤道の北二十

四度より起り三十四度小至りま

全國の境界ハ何々あるヤ

東ハ埃及小接し南ハ撒哈拉大沙漠小至り西

ハ突尼斯チュニス小連あり北ハ地中海を界とま

地形及び氣候ハ如何あるヤ

平原廣坦小して砂磧最も多し海岸ハ膏腴あ

り氣候炎熇小して夜ハ涼しくありま

通國を何部小區別也又部名何といふヤ

四部小分ち東の部を巴爾加といひ南の部を

非森といひ西南の部を加達美といひまは  
首府及び有名なる邑名ハ何々あるや

チリポリ府其他ムールスークアウゲラ及び  
ヘンガシーといひまは

○埃及び彩色ありまは

亞非利加洲の何れハあるや又緯線ハ何度あるや  
亞非利加の東北ハ在り緯線赤道の北二十四  
度より起り三十二度ハ至りまは

全國の境界ハ如何なるや  
東ハ紅海ハ濱ハ西ハトリポリ撒哈拉大沙漠

ハ至り南ハ奴比亞ハ接ま北ハ地中海を界と  
しまは

地勢及び氣候ハ如何なるや

土地廣垣ハ膏腴あり氣候ハ熱炎甚しく  
ありまは

著名なる土地ハ何々あるや

改羅亞勤散得黎ダミーテアスソーン、ティル  
及びヒロツセテ等てありまは

○奴比亞彩色ありまは

亞非利加洲の何れハ在り又緯線ハ何度あるや



亞非利加之東北に在り緯線赤道の北十九度より起り二十四度に至りまは

全國の境界は何々あるや

東に紅海に臨み西にハリースの沙漠に連なり

南に亞比西尼亞に接し北に埃及を界としまは

著名ある土地は何々あるや

加冬サーキン、セングー、センナル、等てありまは

○亞比西尼亞は彩色ありまは

亞非利加洲の何れもあるや又緯線は何度あるや

亞非利加之東北に在り緯線赤道の北七度より起り十六度に至りまは

全國の境界は何々あるや

東に紅海に臨み西北に奴比亞に連なり南に

桑給巴爾を界としまは

地勢及び氣候は如何あるや

平原高廣にして東部に斜めし海中へ斗出し

氣候は温和でありまは

有名ある土地は何々あるや

公達アンコバル、シール、アタア、アキシユム及

ヒゼーラといひまは

○達夫ダール 彩色ハ黄色

亞非利加洲の何れニ在リ緯線ハ何度あるヤ

亞非利加の東部ニ在リ緯線赤道の北十一度

より起リ十六度ニ至リま

全國の境界ハ何々あるヤ

東ハ哥多番コルドバニ至リ西南ハ當牙トレカニ接シ北ハ撒

哈拉大沙漠を界トシま

地勢及ヒ氣候ハ如何あるヤ

砂磧多シ時々暴風盛ムシテ氣候ハ炎燻テあ

りま

首府を何といふヤ

病卑府コッパといひま

○蘇且ソマ 彩色ハ黄褐色

亞非利加洲の何れニあり又緯線ハ如何あるヤ

亞非利加の中央ニあり緯線赤道の北八度

より起リ十六度ニ至リま

全國の境界ハ何々あるヤ

東ハ達夫ダールニ接シ西ハ塞内岡比セネカンビヤニ連ル北ハ

撒哈拉大沙漠ニ至リ南ハ上幾内亞ソウジニアを界トシ

ま

地勢及び氣候ハ如何なるや

南部ハ重嶺攢峰にして北部ハ沙磧あり余ハ皆平垣あり氣候温和てありま

湖の大なる者と大河ハ何々あるや

トサト湖ヨリハ河サター河等てありま  
大なる山を何んといふや

キンクウ井ル山及びアランチカ山といひま  
有名なる土地ハ何々あるや

西疇チンビユクツト、カノー、ホクア、ボースサ、  
ヤリバ、サカツツ、モラ、マジナ、セン、ネー、イダ

ガ、ウグホ、アダフジア、ヨウクマウヤコバ及び

カネム等てありま

○塞内岡比彩色ハ萌黄色

亞非利加洲の何れも在るや又緯線ハ何度あるや

亞非利加の西部も在り緯線赤道の北十度より起り十七度も至りま

全國の境界ハ如何なるや

東ハ蘇且も界し西ハ大西洋も臨み南ハ上幾内亞も至り北ハ撒哈拉大沙漠を界し

地勢及び氣候ハ如何なるや

南東ハ山嶺重疊ノ余ハ悉ク平原最も廣ク亦  
砂積あり氣候ハ酷熱にして四時共ク霧多ク  
ありまは

河の大なる者を何々といふや

塞内岡比河及ヒ岡比河といひまは

著名なる土地ハ何々あるや

巴黒爾斯、ハケル、及ヒヒサニア等いひまは

全國ハ屬する大島嶼ハ何々あるや

盧義斯島、ビスサラ島、ビユスサコ諸島等てあ  
りまは

○上幾内亞ラフゴイネア彩色ハ萌黄色

亞非利加洲の何れふあるや又緯線ハ何度あるや

亞非利加の西部ハ在り緯線赤道の北四度よ  
り起り十度ハ至りまは

全國の境界ハ何々あるや

東ハ蘇且及ヒ公額ハ接し西ハ塞内岡比ハ界

ハ南ハ大西洋ハ批し北ハ蘇且を界とすまは

地勢及ヒ氣候ハ如何あるや

海濱ハ卑下して北部ハ高峻相連あり氣候ハ  
最も酷熱てありまは

大河を何んといふや

キラルラ河といひまは

有名ある土地ハ何々あるや

古馬西<sup>シ</sup>タボメ<sup>ス</sup>、ビヤ<sup>ス</sup>アラ<sup>ス</sup>ベニ<sup>ス</sup>、アボ<sup>ス</sup>ノ<sup>ス</sup>及

ひチノロン<sup>ス</sup>ビツク<sup>ス</sup>等てありまは

他國の所轄せる土地ハ何々といふや

里<sup>ス</sup>比利<sup>ス</sup>亞<sup>ス</sup>塞<sup>ス</sup>拉<sup>ス</sup>畧<sup>ス</sup>金<sup>ス</sup>渚<sup>ス</sup>等てありまは

全國ハ属せる島嶼ハ何々あるや

エル<sup>ス</sup>ナン<sup>ス</sup>ト<sup>ス</sup>ボ<sup>ス</sup>ー<sup>ス</sup>島<sup>ス</sup>聖<sup>ス</sup>リ<sup>ス</sup>マス<sup>ス</sup>島<sup>ス</sup>等てありまは

○公<sup>ス</sup>額<sup>ス</sup>彩色<sup>ス</sup>ハ薄<sup>ス</sup>穉<sup>ス</sup>色<sup>ス</sup>  
てありまは

亞非利加洲の何れハ位也又緯線ハ何度あるや

亞非利加の西南ハ在リ緯線赤道の南四十四

度より起リ十六度ハ至りまは

全國の境界ハ何々あるや

東ハ歴<sup>ス</sup>せ<sup>ス</sup>ざる<sup>ス</sup>の地<sup>ス</sup>ハ界<sup>ス</sup>一<sup>ス</sup>南<sup>ス</sup>ハ霍<sup>ス</sup>丁<sup>ス</sup>得<sup>ス</sup>ハ至<sup>ス</sup>リ西

ハ大西洋ハ接也北ハ上幾内亞を界と一まは

地勢及ヒ氣候ハ如何あるや

東部ハ山嶺相亘リ余ハ皆平原あり氣候ハ炎

熱甚たしくありまは

大河を何んといふや

ノウルス河といひまは

通國の大部を何々といふや

安荷拉本瓦拉羅昂額といひまは

有名ある土地ハ何々あるや

キユイコンホ及ヒコサンコといひまは

○ダマラ彩色ハ黄色

亞非利加洲の何れハあるや又緯線ハ如何あるや

亞非利加の西南の部ハ在リ赤道の南十六度

より起リ二十五度ハ至りまは

全國の境界ハ何々あるや

東ハ末歴の地ハ界ハ西ハ大西洋を臨ミ南ハ

炭哥羅尼ハ接キ北ハ公額を界トシまは

有名ある土地ハ何々であるや

アマリエル、バルメン、ベサニ一及ヒ大ナコウ

ス等てありまは

○亞然彩色ハ黄色

亞非利加洲の何れハ在リ又緯線ハ如何あるや

亞非利加の東隅ハ位キ緯線赤道の北四度

より起リ十二度ハ至りまは

全國の境界ハ何々あるや

東ハ印度洋ニ臨ミ南ハ桑給拔爾サンガバルニ接シ西ハ  
亞比西亞アヒシヤニ至リ北ハ海濱ニ連ナリ

地勢及ヒ氣候ハ如何ナルヤ  
東ハ峯斷續シ東境ハ砂磧多クありま

河の大ナル者ヲ何々といふヤ  
ウエブ河及ヒシユバ河等テありま

著名ナル土地ハ何々ナルヤ  
ベルベラ、ゼイラ、マクアドキスア、ホルリユル  
及ヒフラバ等テありま

○桑給拔爾サンガバルニ彩色ハ黄色

亞非利加洲の何れニあるヤ亦緯線ハ如何ナルヤ  
亞非利加洲の東部ニ在リ緯線赤道の北四度  
より起リ赤道の南十度ニ至リま

全國の境界ハ何れナルヤ  
東ハ印度洋ニ接シ南ハ莫三鼻モサンヒコイニ至リ北ハ亞  
然ニ連ナリ西ハ未歴の地ヲ界トシま

地勢及ヒ氣候ハ如何ナルヤ  
海濱ハ卑下ニ樹林多ク西部ハ山嶺多ク氣

候ハ最も酷熱テありま  
高山ヲ何々といふヤ

ケニア山及ヒキリンジヤロ山等てありまは  
有名ある土地ハ何々あるや

幾羅阿及ヒ馬加多薩等てありまは

全國の属島ハ何々あるや

ベンバ島サンシバル島及ヒモンフヒヤ島て

ありまは

○莫三鼻モサンビゴイ彩色ハ薄稜色

亞非利加洲の何れハ位也又緯線ハ何度あるや

亞非利加の東部ハあり緯線赤道の南十一度

より起り十七度ハ至りまは

全國の境界ハ何れあるや

東ハ海峽ハ枕一西ハリユバタ山ハ接キ南ハ

加弗利亞ハ至り北ハ桑給拔爾を界と一まは

地勢及ヒ氣候ハ如何あるや

峯嶺斷續一氣候ハ酷熱最も嚴一くありまは

河の大ある者ハ何々あるや

三比西河及ヒ薩比亞河等てありまは

著名ある土地を何々といふや

モサンビゴヒ、初法臘ケシマネ及ヒインハン

バネ等てありまは



○加弗利亞カフリア 彩色あり黄色

亞非利加洲の何れもあるや又緯度の如何あるや  
亞非利加の南部に在り緯線赤道の南二十度  
より起り三十二度に至りまは

全國の境界の何々あるや

東に印度洋に面し西北にケアゴ羅ニに接し南  
に南極洋を遙に臨みまは

地勢及び氣候の如何あるや

西部に沙磧多し氣候温和てありまは  
○ケアゴ羅ニ 彩色あり赤色

亞非利加洲の何れに在り緯線の何度あるや

亞非利加の南隅に在りて緯線赤道の南二十  
九度より起り三十五度に至りまは

全國の境界の何々あるや

東南に印度洋に面し西に大西洋に臨み北にラ  
レンジの大河を界としまは

大なる河を何といふや

ラレンジ河及びロンドン河といひまは

高山をあんといふや

スヒツロフ山といひまは

著名ある土地ハ何々あるや

炭朴敦亞巴尼及ヒンウ井ルレムといひまは

大洲第一の港場を何といふや

喜望峰といふ各國商船最も輻輳盛てありまは

亞非利加洲群島

亞非利加洲の群島ハ何々あるや

馬達加斯加爾島不爾奔島毛里西三厄里那島

等てありまは

○馬達加斯加爾島彩色ハ紫色

亞非利加洲の何れハ位ニ緯度ハ如何あるや

亞非利加の東南ハ在リ大島ハ一して緯度赤道

の南十二度より起リ二十二度ハ至りまは

地勢及ヒ氣候ハ如何あるや

峯嶺險阻ハ一して山の東西ハ平垣ハ

最も酷熱てありまは

著名ある土地ハ何々あるや

達那里維タマタフといひまは

新訂 文部省地球儀略解卷二終

地理傳略 卷二

# 官許

明治八年六月廿三日

第三大區五小區築土八幡町廿七番地

編輯 松井惟利

出版人

第一大區十小區西福田町壹番地

伊藤岩次郎

東京

書肆

明治九年三月刻成

定價 二錢

